日刊
磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名濱町[illegible]51
電話 219番
振替口座仙台 31855番
編集人 高瀬 讓
印刷發行人 長瀬芳郎

植田で陶器を發堀

日本土器の貴重な文献

十一月二十七日建設省磐城國道工事事務所勤務の遠藤定雄氏が植田＝泉間國道建設現場監督中植田町金山開墾地西隣最高丘陵（標高七四米）の東西兩斜面工事中地下約六尺の所から珍らしい遺物、須惠器を多数発堀したとの報せを受け考古學を研究している好間第二小學校教頭檜野教諭が二十八日現場に急行調査し次の如く語った

考古學者檜野照武氏談

遠藤氏から連絡があつたので翌日現場に行つて見ると地下二米位の所から陶窯址四ケが発見されたが高サ一メートル三〇中央巾が二メートル八〇、全長七メートル二〇、焚口巾一メートル五〇の大なるもので火口、煙出も正確である

窯の壁断面は、内壁二〇サンチ、壁を堅固にするため、砂礫と草とを混じた粘土塗りで青灰色をなしその内面は高度の火力と永年使用の爲、破璃のような光澤ある釉藥の吹出しを見て外壁二〇サンチの土壌はやけ赤褐色となつていた、これ等を綜合するに須惠器は日本歴史時代に大陸の製陶技術の影響を受けて発達し、以前の彌生式土器に代つて、日本土器の一般のものとなつたこれは直接には朝鮮の系統に由來するところから朝鮮式土器とも云われる

朝鮮に於ては此種の土器は三國時代に發達し就中新羅地方より最も優秀な作品を出しているが、支那では漢代より六朝に亘る期間のものである

我が國では此れを古來須惠器、或は陶器と云つているこれ等は當時日常生活には必要欠くことの出來ないもので主として盛んに用いられたのは奈良朝から平安朝に入つて最も多く寺院や宮殿の遺跡から多く出土している

許可して貰いたい

魚市場附近露店商の總意

【既報】小名浜町榮町地先魚市場通路の埋立地にバラックを新設して問題を引き起した露天業者十六名は小名濱町古湊一三一佐藤卯之助氏同町花畑山田磯一郎氏同町定西二八二新田元治氏を代表としてサンマ、イワシの盛漁期である本年十二月一日より廿六年三月二十日迄の間臨時露店開設について道路使用願を町長宛に提出したので、町当局は來る六日午前九時より小名浜警察署長室に小名浜警察署長、小名浜漁業協同組合長、底曳組合長、施網組合長、小名濱海上保安部長、小名濱港務所長、運輸省工事々務所長の參集をもとめて最後的決定をなすことになつた

これに就き代表佐藤卯之助氏は次の様に語つている

現在十一名が此處で露店を營んでいるが、身体障害者や健康に惠まれぬ者ばかりで生活に追われた結果、生きる道を求めて僅かな資本で開業したのであるが斯くバラックを建てる前に漁業會や役場警察へ依賴に行つても確答が得られないので秋刀魚漁の終了しない裡にと無許可で建ててしまつた譯である、本日役場へ許可願を出したが、自肅自戒して世間の非難を浴びない樣に去る三日拙宅にて申合せをして代表者三名を選出し許可申請をする事になりました、私達の苦るしい立場を理解して貰い正式の許可を早く受けたいものである

露天商より

光勝丸に弔慰会

小名濱町魚市場附近にて營業を行つている佐藤卯之助氏外十名の露店商人は顧客が船舶關係者に多いので、日常の感謝の意を表して光勝丸遭難者に對する弔慰金千百圓を同區長林林平氏を通じ船主に贈つた

警察の射撃

技術講習會

福島市に於ける警察學校では縣下警察官の射撃技術向上の爲、毎年講習し來りたるも第十四回同講習を去る十一月三十日より二日間實施、縣下四十九警察署より勿來警察署長以下二十名受講、江名署では根本警察官が參加した、尙本講習の概評は降雪、降雨に惱まされた悪條件下の實施にもかゝわらず射撃成績は殊に良好との由

新装なる四倉中學

本日盛大な落成式

（既報）かねて新築中の四ツ倉中學校では近隣にも稀れな近代樣式をもつて落成したので本五日午前十時より新校舍に於て來賓多数列席のもとに盛大な落成式を擧行する

海區調整委

來る八日午前十時二十分平市福島縣水産事務所會議室にて小型底曳漁船の調整及禁止區域期間の表示等設定に關し第三回石城郡海區漁業調整委員会が開催される、小名濱よりは比佐、斉藤委員及三代組合長が出席の豫定

大浦青年團

農作物品評会

大浦村青年團では十二月九日午前九時から同村小學校で農作物品評會を開く、当日は青年團員による演藝會や映画などもあり盛会が豫想されている

いわしの産卵狀況

東海區水産研究所發表

本年六月より三ヶ月間に亘り縣指導船共盛丸によつて福島縣沖合（小名濱—東經一四〇度—金華山—小名浜を通ずる線上）の二十ヶ所を觀測地点で採取したいわしの産卵狀況の調査資料に基き檢定していた東海區水産研究所中井研究室はこの程其の結果を次のように發表した

まいわし
卵數 三ケ
稚魚數 四匹

たつのくちいわし
卵数 九ケ
稚魚数 九〇匹

うるめいわし
卵、稚魚共になし

雜魚
卵數 一七〇〇ケ
稚魚數 二一〇匹

これに就き小名濱水産試驗場の談話を綜合すると

この資料は觀測地点が潮流の早い地區であり且時期がいわしの産卵に對し遲きに失した等の理由で斯く僅少な數値となつたが、反面この結果により海流の影響で産卵は多い事が予想出來る

元來いわし漁は廻游魚の多寡で決定されるので、地着きいわしの狀態は影響力が尠ないが一應の參考にはなる

佐藤氏逝去

平市紺屋町十四番地佐藤作平（五七）氏は食道癌で永らく東大病院物療内科にて療養中であつたが効なく十二月三日午前三時五分自宅にて死去した

佐藤氏は磐中第十一回卒業後慶應大學經濟學部を卒業し、小名浜水産株式會社常務取締役をはじめ福島船用品株式會社々長、磐女、平女のPTA會長などを歴任していた

尚葬儀は六日午後二時自宅出棺平市菩提院で營み小名濱町淨光院に納骨することになつている

卓球大會

平石炭事務所管内各炭礦（七五チーム）の第三回親善卓球大會は來る十七日午前十時から平第三小學校に於て開く

明日の暦 六日(水)

日出 前六時三十七分
日入 后四時十八分
滿潮 前一時三十分 午一時
干潮 前一時二十五分 后八時二十分
月齡 二六・一
通日 三四〇

祝 四倉町 大浦村 中學校組合立四倉中學校新築落成 12月5日午前10時から 於新校舍校庭

四倉町役場
町長 花澤乙丸
助役 佐藤卓司
收入役 菅波公正

大浦村役場
村長 阿部崇順
助役 鯨岡榮藏
收入役 磯井伊助

四倉町大浦村中学校組合立四倉中學校長 松本茂壽

四倉中學校PTA 大浦中學校PTA 会長 佐藤直之助

四倉小學校長 渡邊三平

四倉小学校PTA 会長 佐藤卓司

大浦小學校PTA 会長 賀澤久義

四倉消防團長 片寄留松

四倉消防副團長 新妻常吉

大浦消防團長 岡田廣三郎

參議院議員 文部常任委員 木村守江

縣會議員 植田萬次郎

工事施行者
江口工業合資會社
社長 江口勇
四倉町 電話一七番

工事施行者
福富興業株式會社四倉支店
根本喜一郎
本社 福島縣富岡町
自宅 福島縣四倉町仲町

建築委員長 四倉町議會副議長 四倉町連合PTA會長 鈴木幸次郎
建築副委員長 大浦村議會議長 渡邊貴一
建築委員 四倉町議會議長 長谷川長太郎
建築委員 四倉町議會議員 吉田正
〃 新妻常吉
〃 松本亀吉
〃 古市寿平
〃 佐藤直之助
〃 佐藤喜義
〃 片寄留松
〃 新妻春次
〃 長谷川義久
〃 大和田重太郎
〃 鈴木常松
〃 佐藤定太郎
〃 酒井忠太
〃 石井政男
〃 江口勇
〃 長谷川義雄
〃 吉田彌十郎

建築委員・大浦村議會副議長 高崎嘉一
建築委員 大浦村議會議員 根本勝信
〃 佐久山保三郎
〃 片寄甚之丞
〃 高木林平
〃 古市良平
〃 西山半吾
〃 根本榮吉
〃 本田敎榮
〃 渡邊武雄
〃 西山藤助
〃 長谷川盛太
〃 若松富次郎
〃 片寄市重
〃 渡邊正躬
〃 岡田鶴吉
〃 山城淺治
〃 鈴木長助
〃 賀澤庄三郎

工事施行者
鈴木工業株式會社
社長 鈴木正平
平市六丁目 電話一四〇六九八五番

工事施行者
東部産業株式會社
社長 松本榮一
平市堂ノ前十一 電話六六九九七番

組合長の身邊危うし

湯本旅館組合費 疑惑とけず

（既報）湯本町温泉旅館の組合費に就いて問題の事務員塙明子さん（二十二）を湯本町署に拘留し使途を追究中であるが、同人に對する疑惑は薄くなる一方山崎組合長の身邊が濃厚となり檢事拘留まで進むのではないかと見られます〳〵注目されている即ち湯本町内の空氣としては同組合幹部にも及ぼすものと見られていたが同幹部や組合員には金錢的関係がなく、山崎組合長と塙事務員がタッチしていたようであり、なお同組合には規約、監査役等もなく怠慢であつたというそしりはまぬかれないであろう從つて重要なる関係書類は不明、若しくは隱ぺいされており、関係諸官廳に對する贈賄のため費消した金額も莫大と見られ帳簿の檢査に難航を續けているが場合によつては関係官廳方面にも波及して新局面を展開するのではないかと豫想されている

船舶の盗難ひん發

又も米五俵盗まる

小名濱町沖見町七、上遠野胖氏所有榮光丸は小名浜港三千屯岸壁に繋留中去る二日午後十一時より三日早朝までの間に精米五俵（一萬五千圓相當）を窃取された旨保安部に屆出た最近小名浜港停泊中の船舶の盗難被害が續出するので保安部では町署と緊密に連繋し犯罪の未然防止に努力しているが一面被害者の不注意により發生している場合が多いので関係方面及在港船舶全般に對し文書を以て左記事項の注意を喚起している

一、船には責任ある当番を置く事

二、盗難の恐れある物品は必らず厳重に格納する事

三、船内の物品は常に整理し隣接船と充分なる連絡をとり互に盗難豫防に協力する事

轉落直前に救わる

惡の道へ轉落一歩前で救われた若い三人の女性が親切と同情に感謝の手紙をよせたことから一警察官の善行が明るみにでて關係者や同僚を喜ばせている。

話はさかのぼつて、去る二十三日夜九時すぎ平市警察署駅前交番勤務の山口巡査が汽車の出発したあと駅構内を巡視していると待合室の片隅に十七、八才の女が三人小さくかたまつてシクシクと泣いていた、アプレゲールの家出娘が金でもなくしたのかと思い、そばによつて事情をたづねると一人の女は宮城縣亘理郡山下村大字高瀬鈴木テル子さん（一八）という他の二名と共に岡崎市から家に歸る途中、たまたま上野駅から同席した廿七、八才の若い男が秋田まで一緒に連れて行つてあげようと話かけられ安心していたが、列車が平につくと夜行列車に乗りかえた方が便利が良いというので下車して夜行列車を待ち夜七時半頃になると今夜は平に用事があるから泊らなければならない、女だけの夜行列車は危険だ、宿を世話してあげるから一緒に泊つた方がよいと旅館の交渉に出かけていつたが、同女達はあまり親切過ぎるので氣味惡くなり宿をとるにも金はなく心配のあまり泣いていたもの、話をきいた山口巡査は三名を交番に同行し煖をとらせうどんを注文して空腹を充たしてやり、同駅發午前二時三十分の下り列車に乗り込ませたが『おかげ樣で無事につきました、あの時のことは一生忘れません、警察官から暖かい御心ざしをうけたのは初めてです』と便箋四枚にわたつて三名連署した感謝の手紙がこの程駅前交番宛おくられたもの

煙害隨想（四）

芳川七 吉田瑳珊瑠

一、私達は工場外居住者であること、工場で排出するガスは高い煙突より風に乗つて工場の柵外にばら撒かれている。排煙は比重の関係から比較的近辺に降下するのでその煙害の範圍は煙突の高さから見て鹿島町、芳川町、の二町内の中でも半徑五百米以内が殊に被害が大きいように思います、此の点に就いて試驗が果して適正になされているかどうかです。

二、一の區域内の居住者は老人も居れば赤子も居り病人も居住していると云うこと、健康な成年者を含めて工場から放出される有害ガスの量が老幼者、病弱者に如何に作用するかと云うことを永い期間に亘り綿密に調査されているかどうか、最もガスのひどい時になると喉がじり〳〵してくると咳が出る、頭痛がして來ます。これは普通の健康者の症状です。冬期に於ては幾分緩和されるが夏季に於ては常時のことでこんな状態の許に赤子が成育され成人するまでにどんなに影響を受けるか想像しても心が寒くなるような氣がするのは獨り私ばかりではありますまい

鷄の生長が極端に異つている話もあります、産卵率も著しく落ちているようです。それ等の事實は何を物語つているのでしようか

三、ガスの防除對策ですが、一般民家はどこにもそんな防具はありません

防毒マスクのようなものが若しあつたとしても日常こんなものを用いて生活することなどとても考えられるものではなく、工場内で働く労務者の場合とは大いに異つているのです武裝労務者が仕事と四つに組んでおるその状態をテストに掛けてガス無害を説くことは適切ではありません

四、労働者の勤務時間は一週四十八時間であると労基法は謳つています。一日八時間で一週に一度は休息することとなつています。ところが私達の家族は三百六十五日一日も欠かさず居住しているのです。夏季のガスのひどいときもじつと吸い續けねばならぬ宿命に置かれています。少々のガスでは最早私達の感覺はぴんと來ない程になつていますが突然他處から此の土地を訪れた者は余りに強烈な嗅覺の刺戟にびつくりして退散します

以上の四つの点につき比較検討しますと果して会社は科學的な論據の下に確信をもつて人畜無害説の主張を續けられるでしようか（續く）

貨車輸送依然窮屈

常磐礦貯炭問題未解消

貨車不足が切實な問題として叫ばれている折柄、十二月分の國鉄貨車輸送策定会議の結果石炭輸送は現地要請二百九十八万七千屯に對し、國鉄査定目標は二百七十五万四千屯と決り、この結果問題の常磐地區は依然窮屈で十一月末までの貯たんの輸送は年末まで棚上げとなり明年一月以降輸送する旨、國鉄當局から発表された、なお司令部から國鉄予備車の使用許可があつたと一部に傳えられている

漁夫の窃盗

小名浜町古港一六漁夫小松一郎（二〇）と同所漁夫佐川登（二二）の両名は共謀して去る七月十四日午前三時頃小名浜港内に置いた同町古港一三五小野松太郎氏の鯛釣に使用するマテ（餌）二十貫三千円相當を窃取、茨城縣平潟へ賣却したことが判明し去る三十日管野巡査に逮捕され三日書類送檢

暴行未遂を逮捕

石城郡赤井村大字高萩字小郎内三五自轉車業管野正美（二六）は十二月一日夜八時頃酩酊し田町甲陽館前を通行中の内郷町白水字入山六三、平土木監督所自動車運轉助手大津國雄（一九）君にいんねんをつけ脅迫し更に白銀町鉄道官舎脇の暗がりに連れ出しぼう行を加えようとしたところ通行中の平市大町日刊タイムス記者渡邊幸助君が發見、急報したので平市署館内巡査に逮捕された

なお管野は取調に對し無言で押し通し係官を手古ずらしているが余罪ある見込

詐欺の常習檢擧

猫ばばの餘罪多數

小名濱町本町二三家具建具商渡部喜作（三九）は昭和二十年二月頃同町蛭川新川間八一水産業會計の弓野美好さんより修理を依頼された鏡台時價千圓相當を預りながら返却せず横領なし、同二十四年二月頃石城郡豊間町沼内字新町會社員飛田誠行氏より風呂桶製作の斡旋を依頼され代金千七百二十圓を受取り同町下明神町桶業志賀春松氏に本人が以前に注文して置いた風呂桶に風呂釜を取付けさせたが飛田氏には渡さず自分の借金のかたに志賀氏に渡し詐欺横領をなした、又同二十五年一月十七日頃同町下町料理業松葉こと坂林勝三氏に對して廿言をもつて電話を讓渡すると五千圓を詐欺していたことがこの程発覺して二十九日より小名浜署常松刑事の取調べを受けているがこの外にも相當の余罪ある見込である

かつ水對策に節電

法的な使用制限は避ける

赤信号の電力問題は既報の通り冬期渇水期を外にも早く訪れた、昨年や一昨年の豊水とは打つてかわり今冬の電力事情は極端に窮迫化される事が予想されてをり、関係当局ではこれに備えて渇水對策を検討して來たが、總司令部ローマス燃料課長から電力局長に覚書がもたらされ、これによると今冬の渇水對策として法的な使用制限を避けて、消費者側に節電協力を求め事業者側では周波數を低下させぬよう、水火力發電所を一〇〇％に運轉する事を明かにし、現在まで事業者と消費者との自主的對策があいまいであつたため、こんどの覚書によつて大巾に改められるものと見られている

今日の天氣

【今日】朝の中雨が上り日中はよい天氣の見込みです

【海上】風波が高いですから各漁船はご注意下さい

魚菜市況　4日

【青果市場】

甘藷	三一〜四一圓
大根	七〜二〇
丸大根	一一〜一九
人參	七〜二六
牛蒡	一〇〜一六
葱	三三〜五五
ほうれん草	五二〜六〇
白菜	二六〜三〇
澤庵	二一〜六二
卵一ケ	一一〜一六
みかん（一箱）	三〇〇〜三四〇
りんご（一箱）	三〇〇〜六八〇
柿	四〇〜四五

【魚市場】（入荷量三千貫）

えび	六二〇〜九五〇圓
たこ	一六〇〜二〇〇
いか	一二五〜一三〇
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
さんま	一一五〜一二五

祝 磐城日日新聞發展

日本冷藏株式會社
小名浜、江名工場
工場長 八嶋正太郎

「海の男」

廿世紀フオツクス映畫

湖路はるか、巨鯨に挑む海の男たちの滾る闘志と、温き人間味を描く感動と昂奮の壮絶な捕鯨、遭難の大スペクタル巨篇 こゝに堂々上映

監督 ヘンリィ・ハサウェイ

キャスト
リチャード・ウイドマーク
ライオネル・バリモア
ドイーン・ストックウエル
セシル・ケラウエイ
ジーン・ロックハート

5日—3日間

磐城座

急募!!
女給さん 數名
◎十八才—二五六才位迄
◎委細面談の上

小宴会、商談等に是非御利用下さい

小名濱町下町
スタンドバー 紅
電話三九八（呼）

父作平儀永らく東大病院物療内科にて療養中でしたがその効なく十二月三日午前三時自宅にて死去しました生前に賜りました御厚意に對し心から深謝し御通知申上げます

尚葬儀は六日午後二時自宅出棺平市淨光院に於て營み追て小名浜町淨光院に納骨致します

昭和二十五年十二月三日
平市紺屋町十四番地
喪主 佐藤武之
男 加納邦武
親戚總代 加納惠太郎
水野政次郎
友人總代 諸橋久太郎